

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 アイセーター病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	感
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	5,059	非該当	非該当	10:1

※1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療

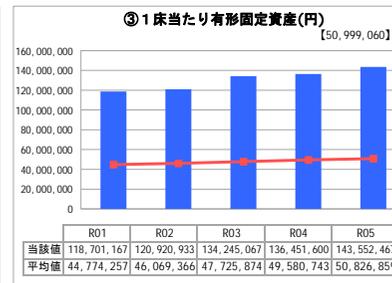
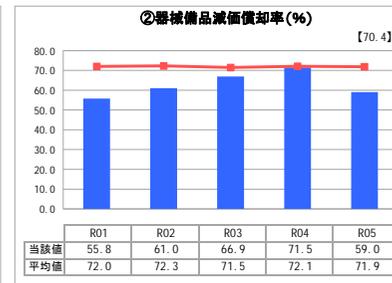
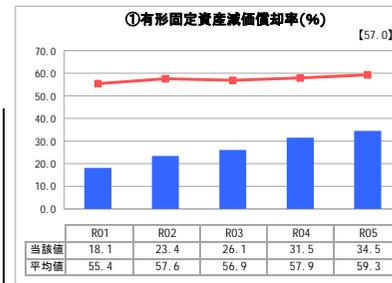
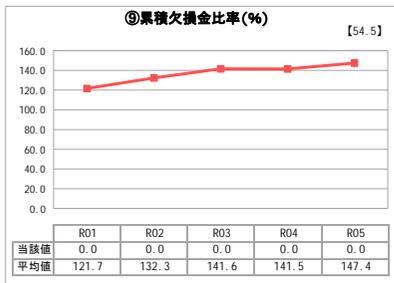
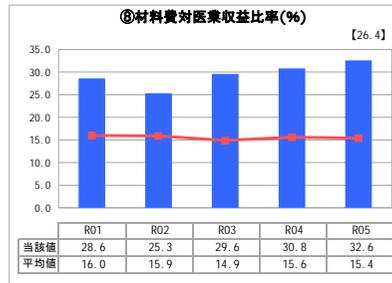
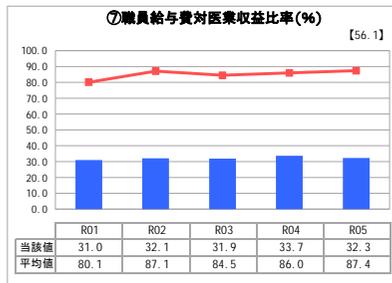
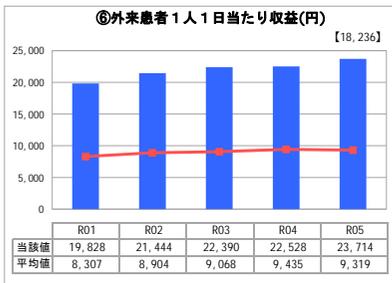
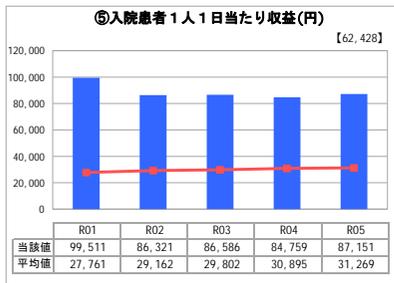
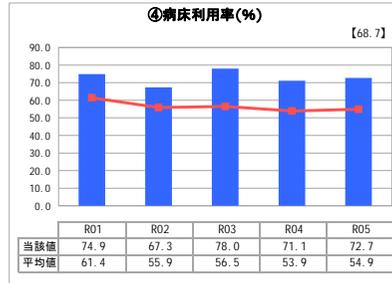
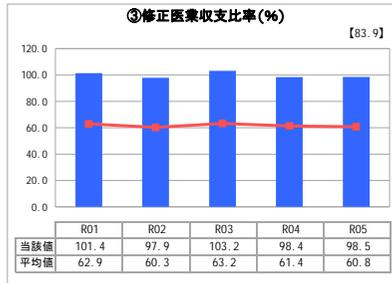
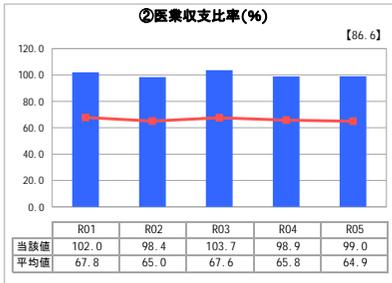
※2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
30	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	30
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
30	-	30

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- [] 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の形態・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

眼科専門病院として、標準医療から最先端の高度医療まで地域医療を高い水準で担うとともに、眼疾患に係る治療・臨床研究を推進する。また、重篤な眼疾患から社会生活への復帰を支援するワンストップセンターとしての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度決算においては、手術室の運用見直しや硝子体注射の増枠等増収に取り組んだが、手術や硝子体注射の件数が増加したことに伴い材料費も増加した為、医業収支比率、経常収支比率ともにほぼ横ばいとなった。

入院・外来ともに患者1人1日当たり収益は上がっており、継続して経営改善に取り組む。

2. 老朽化の状況について

平成29年12月の開院時に新たに建物、医療機器等を整備したことから、有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率ともに平均値を下回っている。開院から5年を経過し、医療機器等の更新を計画的に行っていく。

全体総括

新型コロナウイルス感染症拡大による影響がありながらも6年連続で経常黒字を確保しており、各種指標も良好に推移している。引き続き安定的に黒字が確保できるよう、手術件数の増等による増収や価格交渉による材料費の削減等費用の適正化に取り組んでいるところであり、今後もより一層の経営改善を図っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。